



スポーツの秋 西小第135回運動会 ―みんなの絆は無限大―

10月18日（土）秋らしいさわやかな天候のもと第135回運動会を開催しました。子どもたちは、この日を楽しみに毎日練習に励んできました。今年の運動会のスローガンは「みんなの絆は無限大」です。参観された方々は「絆」にふさわしい仲間と協力して競技や表現に取り組む子どもたちの姿を見ることができたのではないのでしょうか。私たち教職員も練習段階から日々子どもたちと向き合い、支援してきましたが、本番当日の子どもたちの底力（潜在能力）を目の当たりにし、あらためて子どもたちの「無限の可能性」を感じさせられるとともに、個や集団の成長を実感することができました。



【低学年・表現「マジック」】



【中学年・表現「Rock this Party」】



【高学年・表現「西小ソーラン2025」】

なお、当日は早朝より来賓の皆様をはじめ、多くの保護者や地域の皆様にも応援いただき、運動会を盛り上げていただきました。ありがとうございました。



実りの秋 5 年生稲刈り

田植え体験から 4 ヶ月程が過ぎ、10月15日（水）5 年生が稲刈りを体験しました。田んぼを提供して頂いた地域の方や管理にご苦労いただきました西地区生涯学習の会の皆様、ボランティアの方々、保護者の皆様に感謝申し上げます。



【稲刈りをする 5 年生】

地域の方にお話をお聞きますと、今年は猛暑で雨が少なく、例年以上に稲の生育にとって厳しい状況とのことでした。そのような状況にも関わらず、この日収穫を迎えることができ、5 年生が貴重な体験ができたことは、陰で支えてくれていた皆様のおかげだと思います。また、私たちが日頃、何気なく食している米や野菜も生産者の苦労があつての賜と考え、残さず大切に食さなければとあらためて思われます。今回、稲刈り体験した 5 年生の子どもたちにもそんなところまで思いをはせてもらえればと感じました。

2 年生さつまいもほり

10月23日（木）2 年生が、花壇に自分たちで苗を植え、栽培していた「さつまいも」を収穫しました。今年の夏は猛暑で雨も少なかったため、生育を心配しましたが、大きなさつまいもをたくさん収穫することができました。



【さつまいも掘りする 2 年生】

＜お知らせ＞

右のQRコードから西小の Web ページをご覧くださいと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。



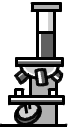
西小ホームページ

西小の取組紹介⑩

がんばっている西小の子どもたちや先生方を
紹介します！



桐生市理科学習発表会①



今年はノーベル医学生理学賞と化学賞で日本人が受賞するという素晴らしい年になりましたが、西小の子どもたちも負けずがんばっています！10月16日（木）市民文化会館会議室において桐生市小学校理科学習発表会が開催され、西小からは5年生と6年生から3つの自由研究の成果を6人の子どもたちが発表してくれました。今回から2回にわたり市理科学習発表会で発表してくれた子どもたちの研究の概要をご紹介します。

「色と温度の関係」 6年 Dくん

- ①きっかけ：この夏の暑さを少しでも快適にすごすため
- ②実験方法：ペットボトルに色紙を貼り、水温の違いを調べる
- ③予想：白色が上がりやすく、黒色が高温となるであろう
- ④結果：予想どおりの結果となった（以下に比較した色等）
低い順：白→アルミ→黄→緑→縞→赤→青→気泡緩衝材→黒

- ⑤感想：夏は白い服を着たり、アルミ加工の日傘など使ったりして快適な生活をしたい。



【成果を発表する児童】

＜理科部会からの指導好評概要＞

○日常生活で問題意識をもち、より快適な生活を送るためにはどうすべきかを考え、実験を行ったことがすばらしい。実験途中で温度上昇の変化を察し、太陽の角度とペットボトルの位置を調整するなどの対応力もよかった。これからも様々なことに挑戦してほしい。今回の経験はきっと将来の宝物になります。

メディアコントロールクイズたいかい！開催 （保健委員会が企画・運営した昼休みクイズ大会）



10月8日（水）昼休みの体育館で保健委員会の皆さんが企画・運営してくれたクイズ大会が開催されました。スマホやゲームを長時間続けることによる健康被害や留意点をわかりやすく三択で答えられるようにしたものです。

【正解して喜ぶ子どもたち】 クイズがはじまると子どもたちは、真剣に解答を考え、正解が発表されるとあちらこちらで「やったー」「えー」と元気な声が体育館に響き渡りました。見ていた私の感想ですが、子どもたちの正答率は非常に高く、「どうすべきか」を理解している子どもが多いことが分かりました。頭では「どうすべき」を理解している子どもたちが、実際に行動に移すためには、「どうすべきか？」が、今後の課題です。

ようこそ西小へ 教育実習生が実習開始

教員免許取得し、将来教職に就くことをめざす大学3年生が教育実習を行うため西小学校にやって来ました。

＜自己紹介と抱負＞

○群馬大学から来ました。英語が専門です。英語の歌を歌えるようになりたいと思ってたくさん勉強して得意になりました。卓球も20年位続けています。

○西小のことを早く理解して、皆さんに分かりやすい授業ができるよう準備したいと思います。皆さんの成長を見守り、支援しながら、自らの成長につなげ、指導の「引き出し」を増やすことを楽しみながら実習したいです！

○実習期間は10月21日（火）～11月7日（金）の3週間です。



【実習生自己紹介の様子】

校長室から

「ドラえもんから学ぶ」



日本で『ドラえもん』を知らない人は、おそらくいないでしょう。藤子・F・不二雄氏による代表的な漫画で、国民的な知名度があり、子どもから大人まで広く愛されている日本を代表するアニメのキャラクターと言っても過言でないと思われます。今や海外でも東アジアや東南アジアを中心に高い人気を誇っているようです。

そんなドラえもんのセリフに「人にできて、きみだけにできないなんてことあるもんか！」があります。これは、他人にできることは、自分にもできるといった勇気をくれる言葉です。また、「いちばんいけないのは、自分なんかダメだと思いきこむことだよ！」は、自分自身で可能性を閉ざしてしまうことの危険性を説いています。「未来なんてちょっとしたはずみでどんどん変わるから！」は、未来は固定されたものではなく、行動次第で良い方向へ変わることをドラえもんは示唆しています。

これらの言葉は、深刻に悩んでいる人にとっては、ややもすると楽観的な言葉として捉えられてしまうかもしれません。しかし、ドラえもんは私たちに、さりげなく、寄り添いつつ、努力や挑戦することの大切さ、そして「未来は自分の心のもちようで変えられる」といった希望を与えてくれていると思うのです。

私たちは、ドラえもんのように魔法の道具は出せませんが、未来へ生きる子どもたちにできることがあるとすれば、「さりげなく、寄り添いつつ、努力や挑戦することの大切さを伝えることと、子どもたちの潜在的にもっているであろう自分を、そして自分の周りも、よりよくしようとする力（Well-Being）を信じる」ことなのかもしれません。

